

『2003年6月から2011年3月までの間に当院で肺癌の手術を受けられた患者さんへのお知らせ』

病理病期 IB 期非小細胞肺癌の予後因子に関する研究について

川崎医科大学呼吸器外科では、川崎医科大学倫理委員会の審査・承認を得て、2003年6月から2011年3月までに当院で肺癌の手術を受けられた方を対象に、手術時に切除された癌の組織を用いて、「病理病期 IB 期非小細胞肺癌の予後因子に関する研究」について研究を行っています。病理病期 IB 期以上は術後補助化学療法が必要とされていますが、病理病期 IB 期には手術のみで根治できている患者が多く含まれています。本研究は IB 期の予後因子を解析し、術後補助化学療法の必要性が少ない予後良好群を予測する研究です。臨床病理学的所見、免疫組織学的方法（細胞増殖能をみる Ki-67 の測定）の結果などから予後因子を検索します。診療録や手術で摘出した組織検体を用いるので新たな負担はありません。遺伝子の検索は行っておりません。手術を受ける際に「手術で採取された病理材料の取り扱いと医学教育・研究使用に関する説明・同意書」で同意を頂いている方が対象ですが、同意を撤回される希望のある方は下記連絡先までご連絡ください。

また、学内研究費のみを使用する研究のため、利益相反は起こりません。

問い合わせ先 川崎医科大学附属病院呼吸器外科 平見有二  
電子メール [gts@med.kawasaki-m.ac.jp](mailto:gts@med.kawasaki-m.ac.jp)  
TEL 川崎医科大学病院代表(086-462-1111)  
呼吸器外科実験室(内線 25519)  
FAX 086-464-1124